

2024年度 渋川女子高等学校 アメリカ研修 (5日目)

ボストンに来て、5日目になりました。時間はあっという間に過ぎて、研修も折り返しとなり、生徒の中には、限られた時間の中で何が出来るかを生徒なりに一生懸命考えているようです。改めて、明日こそは留学生と交流する、授業中も頑張って挙手をする、限られた時間を有効に使って全力で頑張る等、決意をした様です。

しおりには、マサチューセッツ工科大学 (MIT) にて、今田さんにお話して頂いた事、そこから感じた事も多く綴られていましたので、下記、一部抜粋したものを記載したいと思います。

・様々な事にチャレンジする事、色んな事に目を向ける事が大切だと思った。

・今田さんは、臨床で医師として働いていたけど、それに満足せずに、自分がやりたい事に向かって行動できる姿勢にとっても感動した。

・日本人は、保守的になりがちだと言っていて共感した。小さな事でも良いから自分の気持ちを言ってみようと思いました。

・MITでは色んな所に行って話を聞いて、本当に自分がアメリカにいる事は、とても貴重な事だと再認識させられたし、若い内に色んな価値観に触れて、色んな所に行き、沢山の経験をしたい。

・0～1を作り出すには、環境作りや雰囲気作りが必要と聞いて、自分は試験前の勉強がとても苦手なので、少しでも、多くの時間を勉強に費やす為には、スマートフォンを親に預けたり、部屋の模様替えをしたりして、勉強に対する姿勢をイノベーションしたい。

・今田さんが、よく人生は一度しかないとおっしゃっていたのが凄く印象的でした。まだ、私は進路に迷っているので、今田さんがどうやって進路を決めて実現するに至ったかが気になる。私にはない決断力に凄く凄く興味を持った。また、MITは私のイメージと全然違って凄く面白かった。

・自分の将来や進路についてお話を聞く事が出来て、とても為になった。自分には想像も出来ないだろうと思っていた世界に触れられただけでも、自分にとって一生に一度の素晴らしい経験になった。

・MITには、所々ソファや人が集まれる空間があり生徒同士の交流の場になっていた。また、校内に子供を預けられる場所がいくつかあり、勉強したいという人々の意志をととても尊重している国だと思った。日本でも取り入れる文化だと思う。

・アメリカに住むのは難しいと思っていたけど、コミュニケーションが取れば良くて、文法の正確さよりも、話してみる事が重要と言っていたので、まずは思った事を口に出せる様にしたいと思った。今田さんの話しを聞いて、私がボストンにいる間に出来る事がもっとあるのではないかと感じた。アメリカの文化にもっと触れて、日本で活かせる自分の強みを増やしたい。

・最後に今田さんが言った事で、興味がある事にはどんどん挑戦さて、やってみたい事も一回は試してみる。やっぱり合っていないと思ってそれは経験になる。凄く良い言葉だと思った。

・完璧な文法を目指すのではなく、自分が言いたい事を簡単な文章でも伝えようとする事が大切なんだと思った。また、固定観念を払って、新たな道を開拓するのも、楽しそうだった。

・物凄く人生の為になる話をしてくれたので良かった。日本ばかり見ていたから、色々な価値観や視野が広がった気がした。

・なかなか出来ない経験が出来ると言うのはとても幸せな事だし、無駄にしてはならないと思った。

本日の午後のアクティビティーでは、アメリカ三大美術館のひとつでもあるボストン美術館へ向かいました。3グループに分かれて、それぞれのグループが自由に見学しました。最後は地下鉄まで皆で一緒に行き、解散となりました。

明日からは研修ラストスパートです。しおりを拝見すると、中にはまだ帰りたくない、やり残す事がない様に、最後まで全力で楽しむと書いてあり、皆それぞれ充実したボストンの生活を楽しんでいる様です。

最後まで気を抜かずに休む時は休み楽しむ時は全力で楽しむ事をお伝えさせて頂きました。明日以降、最後までどの様に過ごすか今から楽しみにしております。

以上、5日目の報告と致します。

